

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 24 年 8 月 9 日 (2012.8.9)

【公開番号】特開 2011-75304 (P2011-75304A)  
 【公開日】平成 23 年 4 月 14 日 (2011.4.14)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-015  
 【出願番号】特願 2009-224442 (P2009-224442)  
 【国際特許分類】

**G 0 1 J**     **3/46**     **(2006.01)**  
**H 0 4 N**     **1/46**     **(2006.01)**  
**H 0 4 N**     **1/60**     **(2006.01)**  
**G 0 6 T**     **1/00**     **(2006.01)**  
**B 4 1 J**     **2/525**     **(2006.01)**

【F I】

G 0 1 J     3/46     Z  
 H 0 4 N     1/46     Z  
 H 0 4 N     1/40     D  
 G 0 6 T     1/00     5 1 0  
 B 4 1 J     3/00     B

【手続補正書】  
 【提出日】平成 24 年 6 月 22 日 (2012.6.22)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 7 7  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 7 7】

プルダウンメニュー 1 3 6 の左方部には、「光源」なる文字列が表示されている。マウス 3 2 の所定の操作により、図 6 D に示すように、プルダウンメニュー 1 3 6 の下方部に選択欄 1 5 2 が併せて表示され、その右側にスクロールバー 1 5 4 が設けられている。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 8 6  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 8 6】

この画像評価の結果、保護膜付印刷物 4 2 の画像の色が適切でないと判断された場合は、プロファイルの変更を行うことにより色の微調整を行う（ステップ S 7）。この具体的方法としては、プロファイルの再設定・再生成や、プロファイルの微調整（現在設定されているプロファイルの補正）等が挙げられる。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 1 2 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 1 2 1】

ラミネートフィルム 4 0 の光学物性値であって、且つ、未知の変数である R （固有反射率）及び S ×（散乱係数）を実験的に推定する方法を具体的に説明する。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0141

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0141】

なお、Saundersonの補正式等を用いて、実測された分光反射率 $R_n$ を補正した上で、Kubelka-Munkモデルを適用してもよい(“Calculation of the color of pigmented plastics”, JOURNAL OF THE OPTICAL SOCIETY OF AMERICA, VOLUME 32, PP, 727-736, 1942 参照)。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0145

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0145】

この補正により、ラミネートフィルム40と外部との界面における光反射がさらに考慮されるので、保護膜付印刷物42の分光反射率をさらに高精度に予測できる。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0150

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0150】

図11は、図10Bに示す各光学物性値の推定値に基づいて得られた保護膜付印刷物42の測色値(予測値)と、その現物の実測値との比較を表す説明図である。図11のグラフは、 $L^*a^*b^*$ 空間における $a^*b^*$ 平面(すなわち、横軸は $a^*$ 、縦軸は $b^*$ である二次元座標系)を表す。

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0157

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0157】

設定画面200は、座標表示欄202と、マウスポインタ204と、2つのテキストボックス206、208と、ゲージ210と、スライダ212と、1つのテキストボックス214と、グラフ216と、3つのボタン218、220、222とから基本的に構成される。

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0161

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0161】

グラフ216の下方部に設けられた[OK]ボタン218を押下すると調整値の設定が保存され、[中止]ボタン222を押下すると設定画面200が閉じられて設定作業が終了する。